

病気を治すだけでなく、患者さんの心も癒す

くまちゃん通信 龍

2024.1

Vol. 46

URL <http://ookuma.or.jp/ookuma/>

医療法人
朗源会

大隈病院



謹賀新年



あけましておめでとうございます。

医療法人朗源会 大隈病院 会長 大隈 義彦

日頃は当院の運営に多大の御支援を頂き心から感謝致しております。

当院は、より安全、安心の診療に心掛けて参りましたが、来年7月末日には尼崎市昭和通りにて懸案の新病院が竣工いたします。新病院では内容的にも、総合内科はもとより循環器科・消化器科・呼吸器科・外科・整形外科・形成外科・泌尿器科・血液透析科・各々に専門医を擁して、飛躍的に医療機能を進めて行く所存でございます。当院経営理念である「病気を治すだけでなく患者さんの心も癒す」を心に命じ、職員一同、更に力を合わせて精進致す覚悟でございます。何卒、旧にもましてご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。尚、新病院移転後の杭瀬におきましては、外来診療を続けて参りますのでよろしくお願いたします。



杭瀬73年目の
明けましておめでとうございます。

医療法人朗源会 大隈病院 理事長 大隈 健英

2020年1月から始まった新型コロナウイルス騒動も2023年5月には2類から5類に格下げとなりました。その結果、京都、大阪、神戸の観光地や繁華街も賑わいを取り戻し、また、近隣のスーパーや市場でも人の流れはコロナ騒動以前と同じになりました。仰々しいマスク着用者も少なくなり、当院の外来でもコロナ感染患者さんを診ることが減りました。完全に安心はできませんが、「人類が、また感染症を克服したもの」と記される1年になりました。

▶ 2025年地域包括ケアシステムの完成？

現在の日本は、凄まじい人口減少に伴い人類史上経験したことのない「少子高齢化社会・多死時代・要介護時代」の到来を迎えます。国は2025年を目途に高齢者が重度の要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを、人生の最期まで続けることができるよう住まい・医療・介護・予防・生活支援が地域で包括的に提供される体制、いわゆる「地域包括ケアシステム」を構築しました。当院では、この制度が発令された時からこのシステムを実践してまいりましたが、今年は、2025年を目の前にして我々が励んできた取り組みが評価される年となりました。国や地域の皆さんから、益々、信頼される病院となるように頑張る所存です。

▶ 新病院建設状況

さて、2020年から始まった新病院建設プロジェクトも大詰めを迎えます。この杭瀬で始まった医療機関として73年目の年に、大きな飛躍を願い新病院への移転を行います。今まで杭瀬で培った医療介護のノウハウを新しい土地で如何に開花させるかが正念場でございます。新病院の建設は社会的事情でやや遅れておりますが8月開院に向けて猛ピッチで進んでおります。是非ご期待ください。

▶ 新年の抱負

73年間大変お世話になりました杭瀬地域すべての皆様に感謝を捧げ、新たなる地域の皆さんを含め喜んで頂ける医療介護体制の提供をお約束し、新年のご挨拶に代えさせていただきます。これからの医療法人 朗源会を何卒宜しくお願申し上げます。



令和5年度 朗源会グループ 学術研究発表会



11月4日(土)に、大隈病院やおおくま在宅事業部、岩崎クリニック、そして、ほがらか苑からの職員参加のもと、恒例の朗源会グループ学術研究発表会が尼崎市商工会議所において開催されました。

臨床知見の一般演題4題の他、特別講演として(株)ASK 梓診療報酬研究所 代表取締役 中林 梓 先生をお招きし、講演「2024年度診療報酬改定の方向性と大隈病院の経営対応」を拝聴しました。これからも、地域に貢献し続けることができる医療機関と介護施設を目指し、私たちは常に学び続ける気持ちを忘れず、日々の業務に取り組んでいきたいと思ひます。

大隈病院 教育委員会

献立だけでなく、様々な視点から 患者さんを支援できる栄養士を目指します!

昨年4月から大隈病院の栄養課で勤務している、船矢有生と佐渡佳帆です。入社しておよそ1年が経ち、ようやく仕事にも慣れて毎日忙しくも楽しく業務に励んでいます。

献立作成では、カロリーや脂質、塩分だけでなく、前後の食事で同じ食材を使用していないか、食材は季節に合っているか、味付けや調理方法は偏っていないかなど考えることが多岐にわたります。献立に限らず、何事に対しても様々な視点から見て考えることが出来るように頑張っていきたいと思ひます。ベッドサイドにお伺いすることも多く、病棟で見かけた際には気軽にお声がけください!

【病院仲間からのひと言】 元気で笑顔の素敵な二人は職場を明るくしてくれています。



職員から職員へつなぐ、地域へのメッセージ

メッセージ



栄養課
管理栄養士

佐渡 佳帆・船矢 有生

次号予告

次号(3月号)は、「地域連携室 医療相談員 西村 あかね」からのメッセージです。



リハビリ
テーション課

くまちゃんコラム

身体が動かなくなる前に、 ちょっと気にかけてみませんか?

“フレイル”という言葉が、世の中に少しずつ浸透してきているのではないのでしょうか?

健康と要介護の中間段階で、介護を必要とする一歩手前の状態をさします。ほかに、骨・関節・神経障害による機能低下“ロコモ”や、筋肉量の減少・筋力低下“サルコペニア”などという言葉も耳にした事があるかもしれませんね。いずれも、「要介護状態なる前に、リハビリなどにて体力・筋力を頑張って戻し、少しでも健康寿命を延ばしましょう!」という意識付けの言葉です。これらの言葉が気になったり、言われたりしたら、一度、主治医に相談されてみてはどうでしょうか?



医療法人 朗源会 大隈病院

〒660-0814 兵庫県尼崎市杭瀬本町2-17-13
TEL:06-6481-1667(代表) FAX:06-6481-1753
URL <http://ookuma.or.jp/ookuma/>



朗源会グループ ■岩崎クリニック ■大隈病院附属 歯科クリニック ■在宅事業部
■特別養護老人ホーム ほがらか苑

大隈病院

検索

基本方針

- 地域の人人に信頼される病院になります。
- 高度の医療機能を持つ かかりつけ病院になります。
- 病気を治すだけでなく、病める人の心を癒す病院になります。
- 職員が勉強し、朗らかでやりがいのある職場をつくります。